

第31回総明会総会開催

11月18日(土) 午後6時開場

場所 目白 椿山荘 瑞雲の間

総明会会報

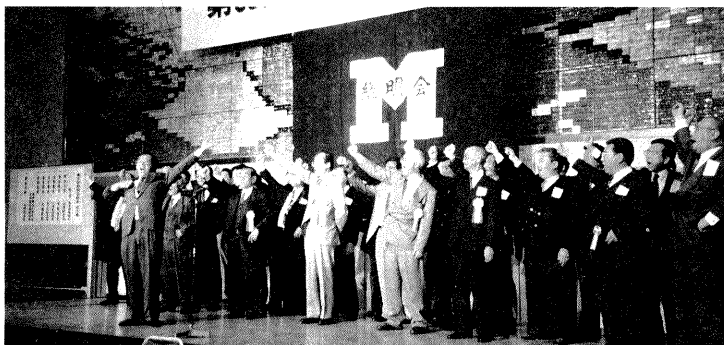
発行

明治中学・高等学校同窓会
〒101 千代田区猿樂町2-4-1
明治大学付属明治高等学校内
TEL(03)3296-4555

発行人／専務理事三浦昭生
編集／昭和43年卒同期会

総明会

五十九年開催の第二十回総会で命名された。初代校長の鶴沢総明先生のお名前をいただき、かつ、明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



第三十一回総明会総会及び懇親会が開催されました。
今回のホスト学年は昭和四十三年卒が務めさせていただきます。
当日は我々ホスト学年同期会(紫讃会)は皆様を中学、高校時代へのタイムマシーンに乗っていただくよう準備万端整えております。
場所は由緒ある目白椿山荘瑞雲の間で行ないますのでこの機会に是非昔の学友をお誘いの上また奥様とご一緒にお出かけ下さい。
緑豊かな椿山荘の庭を散策してからのご来場を心からお待ちしております。

明治中学校校歌

- 1、帝都の真中駿河台 遙に望む富士のねの高き理想の影追ひて 集る健児勇ましや
- 2、学びの高嶺文の海 峻しく荒き行末を懼れず笑みて進みゆく 我等が意気は天を呑む
- 3、忠と孝との大糸を 色どる正義 愛 誠 我等が胸をかざるべき 大和錦の美ならずや
- 4、世界に王たる日の本の 国民の基と身をなして 我等が校の名を揚げむ 我等が国の威を揚げむ

校歌

- 1、白雲なびく駿河台 眉秀でたる若人が 撞くや時代の暁の鐘 文化の潮みちびきて 遂げし維新の栄になふ 明治その名ぞ吾等が母校
- 2、権利自由の揺籃の 歴史は古く今もなほ 強き光に輝けり 独立自治の旗幟し 高き理想の道を行く 我等が健児の意気をば知るや 我等が健児の意気をば知るや
- 3、霊峰不二を仰ぎつつ 刻苦研鑽他念なき 我等に燃ゆる希望あり いでや東亜の一角に 時代の夢を破るべく 正義の鐘を打ちて鳴らさむ 正義の鐘を打ちて鳴らさむ

第三十一回総明会 ご出席いただく先生方

石崎 章生先生	(学校長)	山田 伸夫先生	(数学)
清水 紀夫先生	(高校教頭)	小柴 仁美先生	(体育)
桜井 正美先生	(中学教頭)	鈴木 正人先生	(音楽)
北村 純先生	(国語)	川瀬 孟俊先生	(英語)
田中徹太郎先生	(社会)	後藤 朋智先生	(理科)
栗野 哲也先生	(社会)		

学生たちへの愛情は、
いつの時代も変わらない
駿台——昔と今

昭和初頭の駿台高等予備校の生徒募集新聞広告を見ると、「我学会の弊風たる詰込主義を排し、専ら基本原理の了解に務め、之が運用の玄妙を授け、以て推理及判断力の涵養増進を期す」とある。それから約80年、いまだ駿台の授業は、「学問の基本を理解させる」ことがテーマである。

駿台予備学校

学園長 山崎春之 (第27回卒)

東京校 03(5259)3111	名古屋校 052(204)2311	神戸校 078(241)1100	町田系列校 0427(29)7891
八王子校 0426(42)5811	京都校 075(842)1111	札幌系列校 011(709)7111	上本町系列校 06(767) 4311
大宮校 048(645)3611	京都南校 075(682)2222	仙台系列校 022(296)3701	福岡系列校 092(741)1911
大宮西 048(649)0311	大阪校 06(865) 1111	千葉系列校 043(221)3811	金沢事務所 0762(60)5333
横浜校 045(316)2311	大阪南校 06(531) 1111	柏系列校 0471(62)2771	広島事務所 082(247)3559



総明会について



総明会会長 向殿政男

政局は不安定だし、経済はメ
ロメロだし、我が国は一体これ
からどうなるのでしょうか。と
にかく、我が国を取り巻く環境
や、我が国の構造が変わりつつ
あるのは明らかです。と言っ
ても、誰もその先を確実に見通す
ことができません。しかし、そ
の中で大きな流れでも、また小
さな分野でも、間違いのない幾
つかの方向が無いわけではあり
ません。例えば、世界的規模で
言えば、(現在の民族・宗教紛争
を解決するには新しい平和の理
念の確立が必要なのは明らかで
すが、これは歴史的にみても至
難の技でしょうが)地球環境・
自然環境の重視および、これま
でのむやみの拡大・進歩主義に
ブレーキが掛かるようになるこ
とは間違いないでしょう。一方、
我が国で言えば、若年労働者が
減少して高齢化社会を迎えるこ
とは統計学的に間違いない事
実です。そして、私の専門分野
で言えば、中身が何もないと文
句を言われながらも、マルチメ
ディアを中心とした情報化社会
の到来は間違いありません。こ
れらは、避けられない時代の流
れです。
ばかに大げさな書き出しとな

つてしまいましたが、言いたい
ことは、いかに時代が変わろう
とも、最も大事なことは人と人
とのふれ合いであり、その基本
は教育にあるという変わらない
事実と、しっかりとした人間教
育が有ってこそ、時代の流れを
的確に読みつつ、自分を見失う
ことなく、激動の時代を生き抜
く若者が育つということです。
とは言っても、これからの不確
定な激動の時代を生き抜き、新
しい世界を築いて行くのは今の
生徒であり、これからの若者で
あります。大人の古い価値観で、
若者の生き生きとした感性や創
造性を抑え込んでしまつては
申し訳ありません。そのために
は独自の教育の理念にもとずい
て、各人の個性が十二分に発揮
され、多様性を認めあうような
教育の土壌が是非とも必要です。
このような難しい時代に母校
明治高校・中学校は、人間教育
という長い伝統に裏打ちされつ
つ、新しい校長を迎えて、個性
ある、伸び伸びとした人柄の良
い、かつ新しい時代に積極果敢
に力強く立ち向かうような人間
の教育を目指しつつあるように
見えます。同窓会である総明会
と致しまして、母校の教育方
針の実現に対して支援を少しで
も出来るように努力して行かな
ければなりません。現在、総明
会は、校長・教頭を始めとする
先生方との、またPTAの会長
をはじめとする役員方との会合
を積極的に持ちはじめておりま

す。まだ小さなパイプですが、
母校との交流の活発化は、当然
のことですが、総明会の大事な
目標の一つになっております。
今後、母校とのコミュニケーション
を盛んにすることにより、
先生方、PTAと協力しつつ、
母校がますます発展するように
積極的に発言し、協力していき
たいと思っています。
現在の総明会は、残念ながら、
母校の教育方針に従い力強い支
援をするというには、財政的に
も、組織的にも、そして事業内
容の面からも十分とは言えませ
ん。現在、財政基盤の確立(会
費の再検討)、組織の確立(各学
年同期会の整備)、および事業の
活発化(旅行事業の契約)等々
の努力中です。この会報の発行
と総会・親睦会の開催という総
明会のメイン行事は、これまで
の総明会の歴史が確立してきた
ものです。これからは、これら
の歴史の上に、更に、前述の今
後の課題に取り組んで行きたい
と思いますので、皆様の御協力
をお願い致します。
最後になりましたが、今年も、
会報の発行、および総会・懇親
会開催に対するホスト学年の献
身的なご努力に対して、心から
感謝申し上げます。

経歴
昭和36年3月 明治高等学校
卒業。
明治大学理工学部情報科学科
教授、明治大学評議員。元明
治大学情報科学センター所長。
(財)私立大学情報教育協会常務
理事。日本フアジイ学会会長。

総明会

名誉会長	坂本朝一 (昭和九年卒)
名誉顧問	片岡龍夫 (大正一〇年卒)
会長	向殿政男 (昭和三六年卒)
副会長	山浦晟暉 (昭和二九年卒)
副会長	山崎敬生 (昭和三二年卒)
専務理事	三浦昭生 (昭和三八年卒)
顧問	小林昭雄 (昭和二一年卒)
顧問	卯木敏夫 (昭和二六年卒)
監事	高橋信雄 (昭和二五年卒)
監事	大場隆之 (昭和三〇年卒)
事務局長	尾島育四郎 (昭和四一年卒)
財務部長	増田利明 (昭和三八年卒)
組織部長	長棟良元 (昭和三七年卒)
事業部長	結城康郎 (昭和四二年卒)
クラブOB会部長	米山広昭 (昭和四〇年卒)
副組織部長	栗野哲也 (昭和四九年卒)
学校代表	谷正之 (昭和三六年卒)
事務局長補佐	服部雄二 (昭和四四年卒)
事務局書記	菊池博道 (昭和四一年卒)
事務局書記	原田繁 (昭和四四年卒)
組織部副部長	高村光昭 (昭和三七年卒)
組織部組織員	阿部正行 (昭和四〇年卒)
組織部組織員	八木下恵三 (昭和四三年卒)
組織部組織員	比留間竹郎 (昭和四五年卒)
財務部副部長	家中勉 (昭和四四年卒)
財務部会計担当	関谷芳久 (昭和四四年卒)
事業部副部長	山形英明 (昭和四五年卒)
会旗担当	伊藤茂雄 (昭和三二年卒)

明治大学理事長

岡村了一

明治大学総長

宮崎繁樹

明治大学学長

岡野加穂留

明治高等学校校長
兼明治中学校校長

石崎章生

昭和三六年卒業
総明会会長

明治大学理工学部教授
明治大学校友会副会長

向殿政男

〒158 世田谷区深沢五一八二〇
☎三七〇一一六九一

昭和二九年卒
総明会副会長

株東京富士力ラー

代表取締役社長

山浦晟暉

〒166 杉並区和田二一一一二
☎三三八二四一一
☎三三八四八二一一

昭和三二年卒(明治会)
総明会副会長

市原企業株式会社

代表取締役

山崎敬生

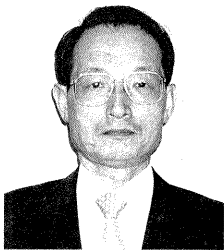
〒299-01 市原市青柳
☎四三六二二一八〇〇
☎一三三三四一一

昭和九年卒業
総明会名誉会長

坂本朝一

〒215 川崎市麻生区上麻生
☎四四一九八八九三六六
☎二一三四一二四

総会によせて



校長 石崎章生

着任二年目となり、学校の状況も把握できるようになり、気を引き締めて過ごす毎日です。三十七年振りにバスケット部が関東大会へ出場(東京予選第六位)、硬式野球部が春季大会でベスト16位(夏季大会シード権獲得)、マンドリン部が全国大会で優秀賞、国際賞を受賞と、生徒の目覚ましい活躍で、校長として、これ以上の喜びです。更に七月八日付日本経済新聞のイヤホン欄に、中・高一貫部活で学ぶ人間関係という見出しで、本校の教育の一端が紹介されました。内容は明高中の生徒は、挨拶がきちんとできて素晴らしいということ。挨拶は日常のマナーとして当り前の事柄なのに、新聞記事になるのは何故との疑問が生じることと思います。挨拶は、本来幼少の頃から、相手を敬い、親密度を強める心を培う礼法として、家庭や地域で仕付けられるものです。ところが現実には仕付けが機能せず、挨拶のできない若者がかなり存在していることにこの記事の意味があるのです。本校では、

家庭や地域に代って、ごく自然な学校教育のなかで機能していることで注目されたのだと思います。今後とも、こういう状況を大切にしていきたいと考えています。幸いにして本校では、高校入試、大学入試がなく、ゆとりある学習指導ができますが、それだけでなく、より一層スポーツ活動や文化活動に取り組み、豊かな心を持つ生徒を育てて、多くの期待に応えていきたいと思っています。そうすることが、付属校としての明高中の社会的評価を高めることにつながると思っています。去る七月一日製造物責任法という法律が施行されましたが、この考え方を大学教育の中に取り入れるという発想があります。卒業生について、一人前という保証を与え、もし能力が不足するならば大学で再教育をするということ。つまり、大学が自校の教育に責任を持つということです。勿論、学生は物でなく、個性ある人間であるとか、考え方がラジカルであるという反論もあるようです。しかし、大学、高校、中学を問わず、教育者は、自から指導した生徒には、そのすべての責任を持つべきであり、知識・技能が不足しているのなら、それを補う機会を持つことは、当然と考えます。本校では、

付属校として、中高大と一貫教育のできる立場にありますので、それらに応えるに十分な、多様なカリキュラムを編成することが可能なのです。生徒が自由に希望が生きるカリキュラムを学習できることは、生徒の学習意欲を増すだけでなく、生き方にも自信を持つことになります。そのことは、将来とも生徒の幸せにつながるだけでなく、学校の発展を促すことができると思います。本校は、教育環境を含めて、既存の制度・慣習、教職員の意識など、改革しなければならぬことが、まだまだあります。明高中で学んで良かったとの声が聞こえる学校づくりを進め、すので、同窓生各位のご叱責、ご支援、ご協力をよろしく願います。終りになりましたが、総明会のますますのご発展と会員各位のご健勝を祈念いたします。

大正一〇年卒業・五明会
総明会名誉顧問
片岡龍夫

昭和三十八年卒
総明会専務理事
有 三浦屋
三浦昭生

昭和三十七年卒
総明会理事・組織部長
株合同
代表取締役社長
長棟良元

昭和三十四年卒
明治中・高校PTA会長
宮嶋良寛

昭和四十八年卒
明治中・高校PTA役員
株大食
専務取締役
小林正邦

昭和二十八年卒
第一法律事務所
弁護士
鶴見祐策

昭和三十七年卒
新魏町法律事務所
弁護士
福島啓充

昭和三十七年卒
柚木法律事務所
弁護士
柚木 司

昭和三十九年卒
前島法律事務所
弁護士
前島良彦

昭和四一年卒
総明会理事・事務局長
三徳印刷株
尾島育四郎

昭和三十四年卒
明治中・高校PTA総務委員長
千歳建設株
代表取締役
千崎忠昭

昭和三十四年卒
小坂法律事務所
弁護士
小坂嘉幸

昭和三十九年卒
前島法律事務所
弁護士
前島良彦

昭和三十八年卒
総明会理事・財務部長
株ニチドウ
代表取締役
増田利明

昭和三十八年卒
明治中・高校PTA役員
株丸愛
取締役
渡辺昭宏

昭和三十六年卒
銀座シティ法律事務所
弁護士
谷 正之

昭和四一年卒
山近・矢作法律事務所
弁護士
矢作健太郎

平成六年度活動報告

専務理事 三浦 昭生

総明会創立三十周年の記念すべき平成六年度は皆様のご協力・ご支援で無事終了し、ここにご報告できますことを心より御礼申し上げます。

総明会は、戦前・戦後の諸先輩、歴代の役員、ホスト学年の皆様、等多くのご努力で、今日を迎えました。本年も三月母校を卒業の二百十名の新しい仲間を迎えました。母校の卒業生は旧制・新制合わせ約一万五千名となりました。

総明会の目的とするところは母校明治中学・高校に学んだ同窓会員が結集し、会員相互の親睦を図り、さらには会員相互の協力を深め、あわせて母校の発展に寄与していくことです。

現在、本会の活動は、事務局(昭和四十一年卒尾島育四郎局長)、財務部(昭和三十八年卒増田利明部長)、組織部(昭和三十七年卒長棟良元部長)、事業部(昭和四十二年卒結城康郎部長)、クラブ・OB会部(昭和四十年卒米山広昭部長)の各部門長の統括のもとで、その活動がすすめられております。また、事務局員・各役員には四十代の初めの方々が中心となっております。

正副会長全員が新制高等学校卒業となり、役員が若返った今、歴史のある学校の多くがそうであります。学制の戦前と戦後の有り様は違うという事を忘れる事無く運営していくために、長年にわたり総明会の発展にご努力頂いた坂本名誉会長、片岡名誉顧問、小林・卯木両顧問をはじめとする多くの先輩のご指導を頂いてまいりたいと思

っております。

諸先輩のご努力で創立三十年を迎えた現状を考えますと、財政の事、組織の事、事業の事、総会・懇親会のあり方、広報の事、など再検討すべき時期でもあります。そこでこの一年、どうあるべきかと会費値上げ問題を含め研究、話し合いを致しました。とくに、若いスタッフの諸君は、時には大先輩をお呼びしたりして、何日も何回も会議を重ねました。今年は一つの形にはなりませんでしたが、きつと近い将来にいい結果を産んでくれるとおもいます。

対外的な事で先ずご報告致します事は、昨年の『総明会会報』の事務局寸評で紹介いたしました。明治大学付属中野高等学校校校友会「武陵会」との友好提携を始めたということです。同じ明治大学の付属校の同窓会として、仲良く協力しあうて互いの組織の発展を願いました。

昨年五月に初めて武陵会の高橋晴樹会長・小堤次男副会長・根本稔専務理事と総明会役員との懇談をもった事が、その始まりです。十一月に開催された第三十回総明会総会に武陵会から高橋晴樹会長・小堤次男副会長・松尾秀一副会長・根本稔専務理事の皆様がご来賓としてご出席下さり、相互理解を深めました。

なお、以下に、平成六年度の主な事業活動を掲げておきます。

◎ 記念すべき第三十回総明会総会は十一月五日に昭和四十二年卒「M41」の担当で、多くの方々のご協力を頂き無事に終了いたしました。総会については別面に報告がありますのでそちらをご覧ください。ただ、本年は総会記念として、昭和二十七年卒業の三追仁志先輩を講師に「記念講演会」を開催いたし、とても好評でしたことをご報告いたします。

ます。

◎ 昨年好評でした在校生へのパブリシティ「総明 ホットライン」を十二月二十四日に発行いたしました。更に、Mにて募集し選んだホットライン大賞を終業式にて、会長より贈呈いたしました。総明ホットライン大賞は学校の中で埋もれた、人目につかない、ユニークで活動的な「何か」をしている生徒を捜しだし、賞という形で応援しようとするものです。

◎ 学年対抗ゴルフ大会

一月二十四日に七十九名の参加で開催しました。余剰金のうち二十万を読売新聞社を通じて阪神大震災に寄付いたしました。来年度以降も学年対抗ゴルフ大会を開催致したいと思っています。ご参加お願いいたします。

◎ 総明会評議員会

各学年代表で構成する評議員会は、今年度三回開催致しました。

◎ 明治中学・高等学校行事への参加

四月六日入学式、十月一・二日体育祭、十一月五・六日文化祭、二月二十日新入会員(平成七年卒業の高三生徒二百十名)のための説明会、三月十日卒業式等の行事に正副会長並びに役員が参加しました。

恩師訃報

野呂 賢先生
平成七年一月六日、七十四歳にて
ご逝去されました。
総明会に対し、多年にわたりご支援をいただきました。
ご冥福をお祈りいたします。

事務局寸評

事務局長 尾島育四郎

総明会総会・懇親会を迎えホスト学年の皆様には、大変なご苦勞をおかけしておりますが、これまでの先輩・後輩の方々のご尽力によりまして、第三十一回の大会を迎える運びとなりました。厚く御礼を申し上げます。

◆ ◆ ◆

さて昨年来より総明会で取り組んでおります「財政基盤の確立」「組織の確立」という問題は、若い人達の組織をより良く強化発展していく事、財政を強化して今後の若い人達に伝えていく事等大きな問題提起として、向般会長を先頭に役員全員が前向きに進めております。具体的

に各部会報告をしますと組織部においては評議員会のあり方等の検討について新評議員の選定をして実行しております。又若い人達の同期会結成の支援等に積極的に取り組んでおります。又事業部においては東武トラベルとの業務提携を締結し、総明会会員皆様方の旅行等全般において最大限の便宜を図るよう努力しております。又財務部においては、年度の予算案を早目に報告して総明会の円滑な財政を確立しております。事務局においては総明会事務局をスムーズに進めるべく各部会と綿密な連絡を計っております。又一昨年

からスタートしました「M・総明ホットライン」も第三回の発行を十二月中旬に設定しました。総明会と在校生の仲間意識・親睦を育てるという意見でスタートしました機関紙が大学生十五名を中心に何回もの編集を重ね、

内容においても非常に好評をいただいております。総明会と現役の学生・父兄との機となり、お互いの交流が一層密になっていく事と思います。以上のごとく役員全員が一生懸命今後の総明会発展の為に頑張っておりますので会員皆様の一層のご支援をお願い致します。

◆ ◆ ◆

昨年より明大中野高等学校同窓会組織「武陵会」との交流につきましては、今年四月二十二日「アルカディア市ヶ谷」において体育会OBクラブの発会式が行われ又五月二十七日に中野高等学校講堂において「武陵会」総会・懇親会が行われました。

総明会より会長・両副会長・専務理事・事務局長計五名で参加をいたしました。今三十一回総会に、武陵会より正副会長五名の方々の参加をいただけるのと事で今後共、相互理解を深め兄弟校として交流を深めて行きたいと思っております。

◆ ◆ ◆

質実剛健を基盤に母校をバックアップしていこうとの意気込みで総明会も発展してきましたが、来期ホスト学年の方々より第三十二回総明会の会場を是非明治中学・高校で行ないたいとの意見が出され、評議員会にて正式に認可されました。初心に反って従来のOB紫紺祭にしたいとの意気込みは、大いに我々役員も歓迎し頑張っていたのだと思います。ただし残念ながら卒業生が学校に訪問したり会議をしたい場合に集合できる校友会室の無い事です。是非一日も早く実現できる様に願う所存でございます。

昭和四二年卒

結城法律事務所

弁護士

結城康郎

〒107 港区虎ノ門二一六四
第一森ビル九階
☎ 三五〇六一一五
☎ 三五〇六一一五

昭和四四年卒

鎌田勇夫法律事務所

弁護士

鎌田勇夫

〒103 中央区日本橋久松町九一三
日本橋久松町ビル八階
☎ 三六六四一〇二
☎ 三六六四一〇一

昭和四三年卒(バレー部)

佐久間法律事務所

弁護士

佐久間洋一

〒104 中央区銀座三三三一一五
銀座アベニュービル五階
☎ 三五三五二二
☎ 三五三五二二

昭和四三年卒

守田法律事務所

弁護士

守田和正

〒285 佐倉市王子台一一二六一一三
石丸ビル二階
☎ 〇四三二四八七
☎ 〇四三二四八七

昭和四三年卒

竹川忠芳法律事務所

弁護士

竹川忠芳

〒100 千代田区霞ヶ関三六六一五
霞が関三丁目ビル
☎ 三五〇四一三〇
☎ 三五〇四一三〇

昭和五八年卒

成富法律事務所

弁護士

上松正明

〒100 千代田区丸の内二六二二
丸の内八重洲四〇八区
☎ 三二二五一一五
☎ 三二二五一一五

昭和四七年卒

五木田・三浦法律事務所

弁護士

三浦雅生

〒104 中央区銀座五一一一五
第一御幸ビル六階
☎ 三五七五一一九
☎ 三五七五一一九

昭和五一年卒(写真部)

原山法律事務所

弁護士

岡田 正

〒104 中央区銀座六七一六
岩月ビル五階
☎ 三五七二五五
☎ 三五七二五五

総明会 平成7年度 予算

(自) 平成7年4月1日～(至) 平成8年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,240,492	会議費	1,028,000
平成6年度会費	500,000	通信費	250,000
新会員入会金	2,400,000	事務・印刷費	300,000
名簿売上金	100,000	公用費	550,000
雑収入	250,000	活動費	1,650,000
「M」広告収入	480,000	次年度繰越金	3,192,492
合計	6,970,492	合計	6,970,492

総明会 平成6年度 会計報告

(自) 平成6年4月1日～(至) 平成7年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,362,045	第30回総会経費	4,309,908
第30回総会会費	2,820,000	第20号会報経費	3,138,276
第20号会報広告代	4,310,000	会議費	247,335
平成6年度会費	465,000	通信費	99,207
新会員入会金	2,100,000	事務・印刷費	581,843
新名簿売上金	200,940	公用費	202,450
チャリティーゴルフ収益金	386,560	活動費	245,880
総会関係雑収入	494,935	阪神大震災義援金	200,000
雑収入	136,035	雑費	10,124
合計	12,275,515	次年度繰越金	3,240,492
合計	12,275,515	合計	12,275,515

平成6年度会計報告

総明会会計 関谷 芳久

本年度の会計報告は、既に平成五年度会計で、総明会で最も費用のかかる新名簿編さん費用を既に支払済であった為に、又、本年度は特に突出した支出がな

く三十四万円の次年度繰越金を残すことが出来ました。しかしながらご承知の通り、名簿発行には大変な費用がかかる為に、次回の名簿発行までには、それに見合う積立金が必要と思われる。

収入の部では、新会員入会金が予算を下回りましたが、総明会主催・第一回・学年対抗ゴルフ大会(82名参加)を行い、余剰金を総明会の活動資金とさせて頂きました。ここに感謝申し上げます。

又、阪神大震災援助金として20万円を、読売新聞社を通して救済募金させて頂きましたことをご報告申し上げます。

第31回 総会会報特別予算

収入の部		支出の部	
第31回 総会会費	3,000,000	会場関係費	3,200,000
第31回 会報広告料	3,500,000	会報関係費	3,200,000
		事務費	100,000
合計	6,500,000	合計	6,500,000

上記の通り報告致します。

平成7年3月31日

会長 向殿 政男
会計 関谷 芳久

監査の結果相違ありません。

平成7年3月31日

監査 高橋 信雄 (印)
大場 隆之 (印)



「総明会第一回学年対抗ゴルフ大会」が一月二十四日(火)茨城県竜ヶ崎市の「ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎」において行われた当日は好天に恵まれ、また平日にもかかわらず保坂元校長先生をはじめ、PTAの方も3名参加され、総勢82名の大ゴルフ大会となり、ゴルフ場も貸切になりました。

初心者だった方、そしていつもよりスコアが良かった方等、和気あいあいのうちに無事終了致しました。またパーティの席上、参加費の一部を阪神大震災へ寄付する事に満場一致で可決し、読売新聞社へ寄付をいたしました。心身共に充実した一日を過ごし、これからの健康や発展を祈りながら散会となりました。

総明会第一回 学年対抗ゴルフ大会



総明会窓口業務
担当交替のお知らせ

平成七年四月より梶原玲子さんに、総明会窓口業務をお引受け頂いております。
総明会に関するお問合わせ・住所変更等については、栗野先生又は、梶原さんにご連絡をお願い致します。

☎ 〇三(三)九六〇四五五五
FAX 〇三(三)九六〇四五八二

梶原玲子です。
よろしくお願い致します。



昭和五二年卒
岡村勲法律事務所
弁護士

續 孝史

〒100 千代田区大手町二一六二二
日本ビル5F五二二区
☎ 三三(七)〇一七六六
FAX 三三(七)〇一四九八

昭和二八年卒
中央監査法人
代表社員・公認会計士
熊木貞夫

〒100 千代田区霞ヶ関三二二五
霞ヶ関ビル一四階
☎ 三五(八)一六二八七

昭和四二年卒
朝貝公認会計士事務所
公認会計士
朝貝省吾

〒107 港区南青山二一四一九
クレインハイツ四〇三
☎ 三三(四)〇五一〇〇三
FAX 三三(四)〇五一四六三

昭和四二年卒
監査法人トーマツ
公認会計士
後藤孝男

☎ 三四(五)七三〇一
公認会計士
笹井和広

〒108 港区芝浦四一三二二三
MS芝浦ビル
FAX 三四(五)七一六九四

昭和四三年卒
公認会計士
高橋 明

〒136 江東区大島九一四一三二一八
☎ 三六(八)三三四三五二

昭和五二年卒
山田辰巳事務所
公認会計士
山田 啓介

〒180 武蔵野市境南町三三三三三
☎ 〇四(二)二二二二二二二
FAX 〇四(二)二二二二二二二

昭和五四年卒
愛三電機株
常務取締役・公認会計士
河合 洋

〒101 千代田区外神田一一二二二
☎ 三五(三)三三六一一
FAX 五二(五)六一三五七〇

昭和二七年卒
株米山富次郎商店
米山 耕右

昭和四〇年卒
米山 廣昭

〒101 千代田区内神田二二二二二
☎ 三三(五)一八二六八
FAX 三三(五)一八二七〇

昭和二八年卒・明窓会
日榮精工株
青木 登

〒171 豊島区要町三二四一〇
☎ 三三(五)七二二二六
FAX 三三(五)五一一二二

昭和三一年卒
株日刊プロスポーツ新聞社
取締役社長
月岡 洋児

〒116 荒川区東日暮里四一九一二
☎ 三八(〇)六一一一一

昭和三二年卒
株高文
高橋 達三

〒101 千代田区内神田三二四一八
☎ 三三(五)二二二四八

小室鋼業株式会社
昭和三四年卒 小室 秀夫
昭和三六年卒 小室 雅夫
昭和三七年卒 小室 輝夫

〒130 墨田区喜多橋一七七六二二二二

退任手記



後藤 明智

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。総明会も年を追うごとに発展して、誠に喜ばしいことで御座居ます。

昭和三十一年三月、明治大学を卒業して以来、明治一本槍で過して参りましたが、今年三月末日をもちまして、無事定年退職を迎えました。振り返りますと数々の思い出が走馬燈の如く脳裏を駆け巡ります。農学部の手から、当時の校長良田喜久雄先生の熱烈要請に屈して、高校の教師になったのが昭和三十四年四月のことでした。始めのうちは高校と大学の掛け持ちで、午前中明高、午後は生田の農学部で化学実験の指導という忙がしい日々が続きましたが、十月から明高専任になりました。翌年中三の学級担任となり、合せて高田の化学を担当しました。その高田の生徒の一人に現会長の向殿政男氏が在籍されていました。

私は現在六十四才ですが歯の治療に週一日蔵の中村歯科(昭和四十四年度卒OB)に通院しています。一応健康状態は良好です。人間ドックに入れば何か病名をつけられるかも知れません。つけました。体重は意外と落ちず、七十キロで安定しています。校内マラソン大会に高校生の諸君と一緒に走り、一昨年は百四十一位、昨年は百五十四位でした。今年は元体育の水落八郎先生と現PTAの金井副会長のお二人から挑戦を受けましたので、勝つて負けても楽しいレースになりました。定年退職を記念に、高校時代の夢を追って、東京箱根間を小間切れに一人で完走しようと思ったのですが、いざ企画してみると多くの障害があり、断念しました。今は六十五才を記念にホノルルマラソン出場を目標に、週二回のクラブ通いに精を出しています。定年になったら、あれもしたい、これもしたいと思っていまして、定年元年では思うように行きません。ゆっくり老後を楽しみたいと思っております。会員の皆様今後共よろしくお願ひ申し上げます。

せんが、妻が食事に気を使っているもので、今日まで元気に過しております。なにしろ此の齢ですから、若い時と違って何かと不都合な点が生じています。尾篋な話で恐縮ですが、尿の流出速度が遅くなり、所要時間が人の倍もかかるようになりました。また、昔から読書が好きで乱読したのですが、最近では眼の疲れを感じるようになり長時間の読書ができなくなりました。寝床に入ってから読書も睡眠薬になっていきます。高校時代は陸上競技部に属し、中長距離の選手だったので、大箱根の上り坂を駆け抜けてみたこと、練習も苦にならず頑張ったものです。入学してみると、実験実習の時間が多く、八幡山のグラウンドに行くのは無理。競走部からの誘いもあったのに、とうとう諦めました。当時は五十キロそこそこのスリムな体型でしたが、五十才の時は七十五キロの下腹の出た典型的な中年男に変身していました。進路や総務の主任として仕事も忙しく手一杯でしたが、役職を離れたのを機会に六十才からランニングを始めました。公道を走るのは危険なので、よみうりグリーンクラブに入会して、ランニングマシンの上で走っています。今年で四年目ですが、始めの頃は千メートルも走れず昔とった杵も駄目でしたが、次第に距離も延びて一万メートルまでこぎ



退任にあたり



水落 八郎

円高、震災、信組、オウム、日米「車」等々と問題に事欠かぬ時節ですが皆様には日頃蓄積された英知と体力、気力を駆使されてつつが無くお過ごしのことと推察致しております。さて今度は、私の退任にあたり、明雪会(スキー部OB会)が中心になり、四十余年の間に関与したクラブ、愛好会の中、陸上競技、アイスホッケー、フエッティング、軟式野球、水泳等のOB諸兄が發起人となり、総明会(同窓会)各卒業年度幹事等の御協力を得、はたまた来賓諸先輩の御光来を仰ぎ盛大な会を催して頂き無上の喜びを実感致しております。

おもいおこせば46年前、戦後の混乱とレッドパージの嵐の吹き荒ぶ学生時代、教員仮免許と就職適格審査に合格し、非常勤講師として北区立赤羽中学校に教師としての第一歩を印し、卒業後は淑徳学園を経て、明治大学高等学校の専任教員、非常勤講師として、高校中学に43年、大学の商学部21年、経営学部20年を経て今年1995年大過なく65歳の定年を迎える事が出来ました。「月、月、火、水、木、金、金」

「欲しがりません勝つ迄は」から未曾有の敗戦と塗炭の苦しみの中で多感な青少年期を過ごし、戦後の再建は人心の刷新、教育の振興からとのスローガンの下に就職に就き、無我夢中で勤務に没頭している中に、日本経済は奇蹟的な発展を遂げ、'64(昭和39)東京オリンピックでは国力を内外に発揚し、第1次第2次石油ショック(エネルギー革命)を無事乗り越え、経済大国として、世界有数の教育水準を誇る文化国家として、国際社会では押しも押されぬ地歩を占めるに至っております。バブル崩壊後の今日、発展の前途に多少の陰りが見えてきま

したが賢明な日本人は培われた教育の力で英知をもつて乗り切ってくれ、確信しております。人生の大半を過ぎた教職生活を振り返るとき、多少の悔は禁じ得ぬものの、ほぼ満足

しておりますが、これも一重に微力な私を支え御激励下さった皆様方の御助力によるものと深謝致しております。「我以外皆我師也」との先人の言が心に沁みますが、科学に社会変革に日進月歩の今日比喩、我以外を全て師と心得、森羅万象を謙虚に受け止め、「生涯教育」「生涯体育」の実践に勤め、脳細胞や心身の活性化を図り、第二の人生を有意義に送りたいものと思っております。退任に当たり所信の一端を述べさせて戴くと共に、皆様の御多幸と益々のご健勝を祈念いたしつつご挨拶とさせていただきます。



明 雪 会

(明治高校スキー部OB会)

名譽顧問
水落 八郎

顧問
大津富士男
(昭和二十八年卒)

顧問
佐藤健一
(昭和三十一年卒)

顧問
村田博親

顧問
西村英之

会長
若松弘昌
(昭和三十九年卒)

副会長
米山廣昭
(昭和四〇年卒)

副会長
堀 真寿
(昭和四十六年卒)

事務局長
五十嵐公一
(昭和五十四年卒)

ヘッドコーチ
伊藤真之
(平成三年卒)

「後藤先生有難うの会」の報告

平成七年四月十四日(金)
に、日比谷公園内「松本楼」にて、昭和38年卒三浦昭生先輩の音頭で「後藤先生有難うの会」が開催されました。

後藤先生は、本年三月三十一日付で、明治高校を定年退職されました。先生は、広島県出身で明治大学農学部で化学を学ばれ、農学部を背負って立つと思われており、学部の理科を見て「ちょっと中学校に来て下さったのですが、私たちの可愛さに感嘆され、大学に戻られるのを断念し、40年近くの永きにわたり私たちをご指導してくださいました。「後藤先生有難うの会」とは、多年に渡る先生のご薫陶に感謝の意を込める「ありがとう」と先生がお元気に活躍できましたのは奥様のお陰でもあり、第2の人生の門出にあたり先生が奥様に「ありがとう」と感謝をなさる意味で名付けられました。

当日は、高校三年生の時に、ご担任であった学年が、世話役となり、多数のOB(約一〇〇人)の方が出席されました。和気藹藹とした雰囲気の中で明高時代の思い出話に花が咲き、とても楽しい会となりました。その際、先生の想い出を出席者全員で寄せ書きにし、後藤先生に

お渡し致しました。後日お伺いした話ですが、奥様が、その日夜中までかかって、全部目を通され「これまでの人生で、一番感激した。」というお話をしました。

なお「後藤先生有難うの会」の今後について次の様に決まりましたのでご報告いたします。

記

名称 ごとう会(510会)
毎年5月10日に先生を囲んで懇親会を行う

長谷川 裕 記



昭和三十七年卒
浅草かつば橋道具街
高村製罐株式会社
代表取締役
高村 光昭
〒114 台東区松が谷三十八-十二
☎ 三三四-一〇一二七

三和繊維株式会社

昭和三十四年卒

専務取締役

小林 功明

昭和三十七年卒

常務取締役

小林 久剛

〒112 文京区千石四一三九-一九
☎ 三九四六-〇二四八代

昭和四〇年卒

東京都豊島区南長崎六-三六-四
武川産業株式会社
代表取締役
武川 和義
☎ 三九五-一二七二代
☎ 三九五-一二七九一

昭和四十年卒

上陽電設株式会社
代表取締役
阿部 正行
本社 東京都千代田区外神田六丁目一〇番十号
営業所 東京都足立区中央本町四丁目〇番号
☎ 三三八〇-〇二八・〇二六・〇二五番
☎ 三三八四-一四七九番

昭和四一年卒

菊本紙業
菊本 哲也
〒130 墨田区千歳二一四-一七
☎ 三六三-一〇七六
☎ 三六三-一八四四

昭和三十七年卒

日本動物薬品株・日動食品株・株ヨシダ

代表取締役 吉田 信行

(株)ニチドウ

代表取締役 増田 利明

〒124 東京都葛飾区西新小岩4-37-9 TEL(03)3694-1277(代)



株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁

昭和三十九年卒業

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14

☎ 3742-7177

糀谷本店・蒲田東口店・大森店・五反田店

エーゼット株式会社

〒101 千代田区神田佐久間町四十三

服部 洋一 昭和四一年卒

服部 雄二 昭和四四年卒

大導寺和幸 昭和四四年卒

美津和食品(有)

昭和四一年卒 菊池 博道

昭和四六年卒 菊池 満

〒110 台東区下谷三十四-五
☎ 三三七-二五四二七

昭和四一年卒

亀井 肇

〒131 墨田区向島五-三十五
☎ 三六二-一三八五〇(代)

東京特殊鋼(株)

昭和四二年卒

斎藤 徹

昭和四五年卒

斎藤 裕

〒106 港区南麻布五-三十一-九
☎ 三三四六-一三八二一
☎ 三三四六-一三八二四

昭和四二年卒

株紳 商

代表取締役

茂木 照男

〒278 野田市山崎一五〇八
☎ 〇四七-一二二三八二〇

昭和四二年卒

日本化薬株

伊藤 謙一

〒166 杉並区成田東五-二一九
☎ 三三九-一三三九四
☎ 三三九-一三三九四

昭和四二年卒

土屋 隆昭

〒140 品川区南品川六-七-四三
☎ 三七四-〇一五八七

昭和三九年卒

七尾 孝房

海田 輝市

昭和四三年卒

八田 信明

昭和四九年卒 八田 信和

昭和四三年卒

白衣・カーテン 丸不二(株)

藤本 義満

〒101 千代田区東神田三-三十一-二
☎ 三六六-一〇三二一

昭和四四年卒

彩の家 ワイシー企画(株)

新築・建替工事・増改築致します。

藁 谷 豊

〒358 所沢市若狭四-二四八九-三
☎ 〇四二-九一四七-一七七七(代)
☎ 〇四二-九一四七-一五九一

昭和四〇年卒

株金子紙工社

金子 清

〒104 中央区八丁堀三-三三-九
☎ 三五五-一八八一(代)
☎ 三五五-一三八〇四

昭和四〇年卒

マルトグラフィ印刷株

村田 英雄
〒124 葛飾区東立石一-五-一六
☎ 三六九-四一四一(八代)

明治高校バレー部OB会

明治高校バレー部顧問

山中禎一郎

酒井孝憲

会長

山口一磨

大橋博

副会長

伊藤寿

南出進

(昭和三〇年卒)

田村正彦

(昭和三〇年卒)

嶋村貞男

(同右)

幹事長

矢島芳郎

(昭和四〇年卒)

佐久間洋一

(同右)

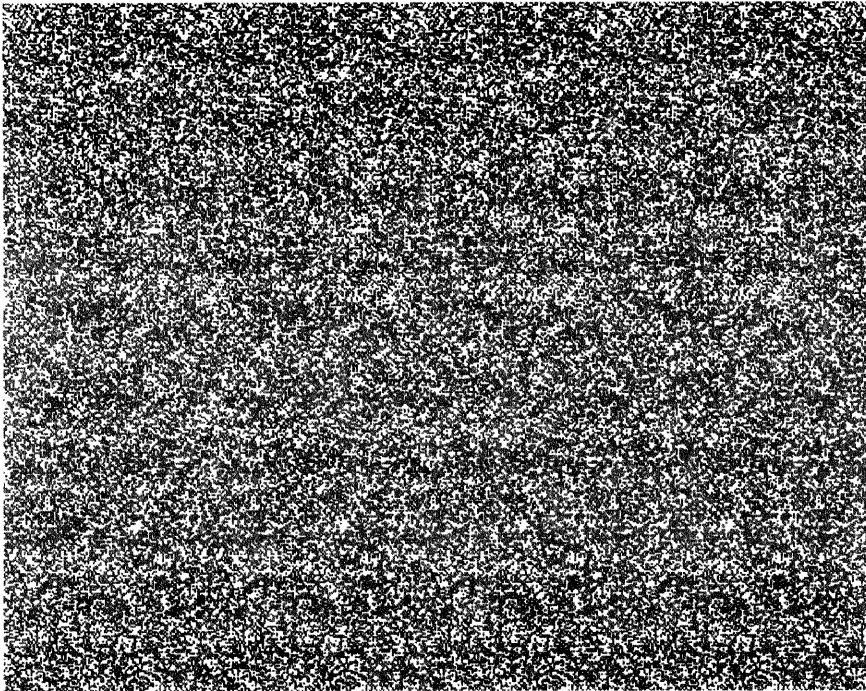
星野勲

(昭和四五年卒)

明駿会

昭和三六年卒

会長 加藤眞義 幹事 石川守也
副会長 谷正之 納米秀明
会計 山田和男 向殿政男
幹事 浅古忠男 池田実
岩沢光紘 稲田国昭
打越通雄 武雅夫
佐藤達二 任武夫
佐藤文彦 村田保広
矢口博康 米田達彦
矢嶋芳郎 吉田光夫
山鹿輝康 片山智士
江俣輝紀 神崎進
坂下修 野村明義
椎橋義夫 増田敏男
井田中 矢嶋芳雄
井口弘 和孝



祝 第31回 総明会 総会

明治大学附属明治高等学校応援団OB会

昭和四五年卒 同期会

獅子の会

幹事長 吉田耕太郎

総務幹事 高橋功

山形英明

米長博

松本勝彦

上野隆史

新倉章次

比留間竹郎

中村裕次

榊原光一

星野勲

大石喜代司

中村信也

北島一弘

石川雅経

近藤彰克

山野井英男

幹事 一期一同

明治高校同窓 木場グループ

昭和一八年卒 落合博
昭和一九年卒 大堀雅義
昭和二〇年卒 大田孝彰
昭和二一年卒 細田孝治
昭和二二年卒 大田孝治
昭和二三年卒 二瓶満男
昭和二四年卒 渡辺徹三
昭和二五年卒 前崎安三
昭和二六年卒 渡辺徹三
昭和二七年卒 細田孝治
昭和二八年卒 細田孝治
昭和二九年卒 郷田孝治
昭和三〇年卒 郷田孝治
昭和三一年卒 郷田孝治
昭和三二年卒 郷田孝治
昭和三三年卒 郷田孝治
昭和三四年卒 郷田孝治
昭和三五年卒 郷田孝治
昭和三六年卒 郷田孝治
昭和三七年卒 郷田孝治
昭和三八年卒 郷田孝治
昭和三九年卒 郷田孝治
昭和四〇年卒 郷田孝治
昭和四一年卒 郷田孝治
昭和四二年卒 郷田孝治
昭和四三年卒 郷田孝治
昭和四四年卒 郷田孝治
昭和四五年卒 郷田孝治
昭和四六年卒 郷田孝治
昭和四七年卒 郷田孝治
昭和四八年卒 郷田孝治
昭和四九年卒 郷田孝治
昭和五〇年卒 郷田孝治
昭和五一年卒 郷田孝治
昭和五二年卒 郷田孝治
昭和五三年卒 郷田孝治
昭和五四年卒 郷田孝治
昭和五五年卒 郷田孝治
昭和五六年卒 郷田孝治
昭和五七年卒 郷田孝治
昭和五八年卒 郷田孝治

明卓OB会

(明高卓球部OB会)

名誉会長

昭和三〇年卒 宇田川雄弘

相談役

昭和二七年卒 安田 実

昭和三〇年卒 西村 昭

昭和三三年卒 井澤勝彦

昭和三四年卒 小林功明

昭和三七卒 倉島孝夫

会長

昭和三八卒 高橋正佑

副会長

昭和三九年卒 佐藤信征

昭和四〇年卒 秋田直好

会計

昭和四七年卒 遠藤裕司

幹事長

昭和四二年卒 山崎泰夫

常任幹事

昭和四〇年卒 新井利章

昭和四三年卒 堀川貴司

昭和四五年卒 荒川公一

昭和四六年卒 岩田順義

昭和四七年卒 前原正浩

昭和四七年卒 小川武志

昭和五〇年卒 佐藤富良

昭和五一年卒 浅川弘和

昭和五二年卒 富樫輝良

昭和五四年卒 鳴海秀幸

昭和五七年卒 川野秀一

昭和六二年卒 西山大典

※ 毎年OB会を開いています。

OBの方々、多数ご参加下さい。

歴史研究部OB会

名誉顧問

伊藤好一

保坂吉彦

顧問

栗野哲也

名誉会長

麻生 優

大橋正爾

会長

平沢一義

事業部長

池田高征

事業部

結城康郎

事務局

山形英明

大橋荒太

会員数 一三四名

祝 総明会第31回総会

見心会

明治中学・高等学校剣道部OB会

祝 総明会第31回総会

明高バスケット部OB会

会長 鈴木寿雄

祝 総明会第31回総会

明水会

明治中学・高等学校水泳部OB会

会長 寺村武二(昭和26年卒)

昭和四三年卒

株東京シオノヤ

専務取締役

塩谷隆二

住所 品川区西五反田七一六〇一六
電話 三四九二一五六五六

株山五書房

昭和四三年卒

藤井純一

昭和四五年卒

藤井春樹

住所 台東区上野六一一六八〇七
電話 三八三六一〇〇四

明高柔道部OB会

相談役

昭和三〇年卒 福田二郎

昭和三一年卒 佐藤康明

顧問

昭和三五年卒 大村勝利

昭和三六年卒 鳥海又五郎

会長

昭和三八卒 小川洋一

副会長

昭和三七卒 中谷捷治

昭和三八卒 井上和洋

昭和三九年卒 中野一郎

幹事長

昭和三九年卒 中本義行

幹事

昭和三九年卒 佐々木隆夫

昭和四〇年卒 辻井俊一郎

昭和四一年卒 中島平人

昭和四一年卒 金子淑夫

昭和四二年卒 市倉 務

昭和四三年卒 今井振二

昭和四五年卒 加藤木 裕司

昭和四六年卒 長野克彦

昭和四八年卒 濱本義典

昭和五〇年卒 近藤 吉彦

昭和五一年卒 小山 美津男

昭和五二年卒 大谷 晴彦

昭和三〇年卒

財団法人 東京都柔道連盟

専務理事 福田二郎

〒112 文京区春日一六三三〇
☎ 三八一八八五三三九
☎ 三八一八八四二四六

昭和三一年卒

株丸吉技販

代表取締役 佐藤康明

〒101 千代田区神田紺屋町六
☎ 三三二二八四一一

昭和三六年卒

財団法人 全日本柔道連盟

事務局 鳥海又五郎

〒165 中野区春日一六三三〇
☎ 三三八六一四一九九
☎ 三三八六一四一九九

昭和三十七年卒

中谷捷治

〒157 世田谷区北鳥山一三八一八
☎ 三三八一八七五八

一般木材販売及造作工事 木材問屋

株丸水商店

昭和三八卒 取締役社長

昭和四一年卒 専務取締役

小川 秀次

〒136 東京都江東区新木場一九六
☎ 三五二一八八〇一 〇二一八八〇四

昭和三十八年卒

井上和洋

〒272 市川市八幡四一六二二
☎ 〇四七三三三四一四六二四

昭和三十九年卒

株日本工業検査

中本義行

〒340 草加市青柳三三三六一七
☎ 〇四八九一三六六八四八

娯楽の殿堂みやホール 喫茶・パブ 山の音

昭和三九年卒

代表取締役 中野 一郎

昭和三九年卒

部長 佐々木 隆夫

〒110 台東区竜馬一三二二二
☎ 五五〇三三〇八八八

昭和四〇年卒

日三鑄造

辻井俊一郎

〒332 川口市末広一一六三三一
☎ 〇四八二二二三三四五四

昭和四一年卒

中島畜産食品株

代表取締役 中島平人

本社 〒130 墨田区太平一一六一八
☎ 三六二五二四二九代
☎ 三六二五二四二九代

昭和四八年卒

四国商事株

濱本義典

〒165 中野区新井一一五一二
☎ 三三八六一四一九九
☎ 三三八六一四一九九

新任の先生紹介



駒形くみ子先生
(30才)A型

- ①埼玉県入間市
- ②立教大学文学部史学科
- ③映画、演劇鑑賞、ハーブ栽培
- ④附属校であるので受験校とは違った良さがあ
ります
- ⑤気楽そうですが殺風景な感じがします
- ⑥受験勉強を良くしてきたので何でも知っている
- ⑧生徒一人一人の力がそれぞれに花開くよう、努力
したいと思います
- ⑨社会科、中一B・副担任



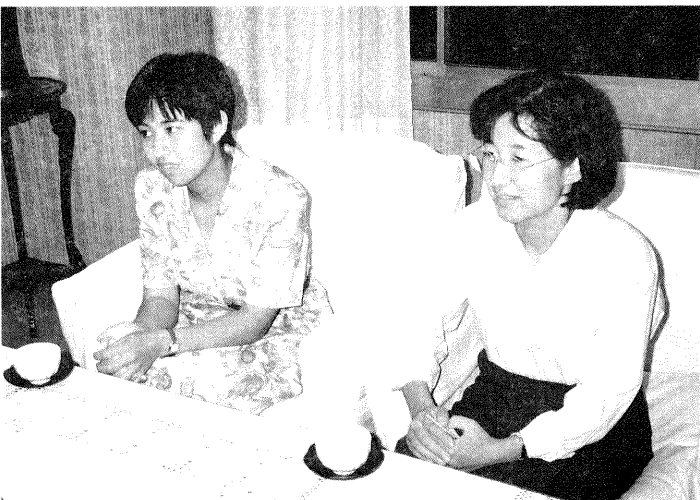
櫻井 清孝先生
(24才)AB型

- ①愛知県
- ②明治大学農学部
- ③柔道
- ④個性を尊重するという私の理想の校風を持って
いる
- ⑥異性との交流が少ないので女性とのコミュニケ
ーションが下手である
- ⑦総明会という組織があつて、OBとの交流がもて
ることは素晴らしいので、是非続けて頂きたい
- ⑧前任校と勝手の違う事も多く、戸惑う事も多いで
すが、生徒のエネルギーに負けない様な授業を目
指しています
- ⑨理科、中二A・副担任



矢田 理世先生
(22才)B型

- ①東京都杉並区
- ②東京外語大学外国語学部
- ③編み物、音楽鑑賞
- ④受験戦争がなく、のびのびと出来る
- ⑤中一はまだ可愛らしいです、ただ体育の後などは
教室が男臭いです
- ⑥何でも良く知っていて、教わる事もあります
- ⑧男子校という限られた環境の中ですが、生徒達
も、私自身も視野がせまくなならないよう、心掛け
ようと思っています
- ⑨英語、中一A・副担任



①出身地 ②出身大学 ③趣味 ④明治中・高を選ん
だ理由 ⑤男子高はどうですか ⑥明治中・高生はど
う思いますか ⑦OBに対して何かありますか ⑧抱
負と期待 ⑨教科・担任

マンドリンクラブ OB一同

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|-------|-----|-----|------|-----|-----|------|-------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|
| 昭和二二年卒業 | 大戸義夫 | 金子健三郎 | 川西孝 | 小泉隆 | 小宮隆仁 | 左山実 | 島巧七 | 杉健次郎 | 曾我日出雄 | 田島道明 | 只隅繁 | 田中康公 | 塚田正寿 | 中山敏昭 | 林明良 | 福島良夫 | 古屋恵三 | 村山雄三 |
|---------|------|-------|-----|-----|------|-----|-----|------|-------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|

M41同期生有志

- | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------|------|--------|-------|------|-------|------|-------------|-------|----------------|------|--------|
| 昭和四二年卒同期会 | 結城法律事務所 | 結城康郎 | 土屋隆昭 | 伊藤謙一 | 小澤清一 | 倉又光仁 | 腰塚義和 | 新村秀男 | 平澤一義 | 堀井健至 | 村西一郎 | 斎藤徹 |
| 東京工機株 | 三光印刷有 | 株三協 | 株チユウセキ | 日本化薬株 | 株三協 | 東京工機株 | 腰塚義和 | 孫悟空・スーパードリマ | 市川食糧株 | 有アップル エンタープライス | 株ムラシ | 東京特殊鋼株 |

明潮会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|-----------|------|------|-----|-----|------|------|-------|------|------|------|------|-----|-------|------|-------|------|
| 昭和四六年卒同期会 | 会長 篠利行 | 事務局長 金子敏一 | 齊藤公義 | 君塚浩一 | 木村茂 | 岩城健 | 杉沢正利 | 國井勇二 | 橋本憲司郎 | 橋本和彦 | 神辺光寿 | 白崎義男 | 庄野國彦 | 塙直樹 | 小野田健治 | 大塚信彰 | 高橋陽一郎 | 桜井種明 |
| 渉外委員 | 監査 | 會計 | 君塚浩一 | 齊藤公義 | 木村茂 | 岩城健 | 杉沢正利 | 國井勇二 | 橋本憲司郎 | 橋本和彦 | 神辺光寿 | 白崎義男 | 庄野國彦 | 塙直樹 | 小野田健治 | 大塚信彰 | 高橋陽一郎 | 桜井種明 |

川口明高会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大熊康浩 | 内木増雄 | 目良昇 | 渡辺進 | 石井惣一郎 | 荻野布昌 | 羽鳥源一 | 石井次男 | 由本俊昭 | 片口清 | 森見善一郎 | 石田和夫 | 山田宏之 | 田口隆一 | 津守徹 | 岡本雅仁 | 朝倉一寿 | 石井君忠 | 大熊健介 |
| 昭和29年卒 | 昭和31年卒 | 昭和31年卒 | 昭和33年卒 | 昭和40年卒 | 昭和40年卒 | 昭和40年卒 | 昭和43年卒 | 昭和45年卒 | 昭和48年卒 | 昭和48年卒 | 昭和49年卒 | 昭和50年卒 | 昭和50年卒 | 昭和51年卒 | 昭和51年卒 | 昭和54年卒 | 昭和57年卒 | 昭和57年卒 |

宮崎・大分に旅して

片桐 正男

平成六年十一月五日の第三〇回総明会記念総会に出席し、久振りに同期と懇談し楽しい一時を過ごしたが、福引の抽選会で、はからずも一等賞が当り、日頃籤運の悪い私には信じられない思いでした。

数日後旅行担当の堀井様から

春潮や横一列の波状岩



日南海岸
堀切峠

は日南海岸の観光で幸運にも良く晴れ渡った朝を迎え、八時過ぎ観光バスにて宮崎神宮、平和台、はにわ園と見学、昼食後青島に渡り、春風で波状岩に波が打ちよせ強風の中での見物でした。

青島から

南下して堀切峠、サボテン公園、鶴戸神宮と下車してゆっくり歩いて見物。再び宮崎市内に戻り、同じホテルへ宿泊、ライ

トアップしたフェニックスの見える窓辺で、フランス料理を味わい、

夕食後は豪華なフロントロビーでくつろぐ事が出来ました。

翌早朝宮崎駅より「シーガイア」号で出発、臼杵駅で下車、

市内バスで重要文化財の石佛を見学、大小六十余体の石佛は遠く千年前の藤原時代の文化歴史を語っており、その風雨に堪えてきた石佛群は圧巻であり、そ

の神秘的なたたずまいの中で何かを語りかけている様。その附近は桜と連翹が満開でした。

花散るや唇に紅さず磨崖佛 昼食後「ゆふいんの森」と云

う名の列車で湯布院へ、湯布岳が眼前に広がる丘の国民金融公庫の保養所に着いたのが十七時過ぎ、豊富な温泉につかり疲れをいやし、窓に湯布岳の暮れてゆくのをしながらの夕食でした。花冷や湯布岳の夜の色となる

翌朝は湯につかり、湯布岳の麓の街全体を眺める事が出来、

駅から大分行の一輛車がガタゴトと線路に沿った菜の花畑の側を走ってゆく、そんな絵になる風景をあかず眺めてまる二日間

ゆっくりと過ごすことが出来ました。又小ぢんまりと落着いた美しい竹まいの中でのんびり湯につかったり、乳色の霧がもやる朝の金鱗湖をはじめ田園の風情の残る街をのんびりと歩く楽しさも味わいました。

湯布院に着いて四日目の四月十六日、早朝バスで大分空港へ、春雨の中を関西新空港に一時足らずで到着、空港内を見学、昼食後空港鉄道「ハルカ」に乗車して新大阪駅へ、駅内で休憩し新幹線にて東京へ。

お蔭様で夫婦共々無事で六日間の旅を楽しんで参りました。有難うございました。終わりにこのたびの旅行については堀井健至様に種々お世話になりましたことを心から感謝しております。

終



総明会と提携の旅行会社です

親睦旅行・社員旅行・家族旅行などお気軽に

ご用命・ご相談ください。

担当者からご連絡・お伺いさせていただきます。

—お問い合わせは最寄の各支店担当者まで—

●浅草支店

〒111 東京都台東区花川戸1-2-6 中傳ビル6F
TEL 03-3847-2750 担当：川上・内山

●日本橋支店

〒103 東京都中央区日本橋2-2-21 日本橋2丁目ビル3F
TEL 03-3272-1426 担当：永田・白井

●新宿支店

〒160 東京都新宿区新宿1-36-4 丁字屋ビル8F
TEL 03-3356-3881 担当：櫛田・箱崎

●千葉支店

〒260 千葉県千葉市中央区新千葉2-12-1 第11東ビル6F
TEL 043-246-2031 担当：進藤・出山

●越谷支店

〒343 埼玉県越谷市弥生町12-1 東武ギフトサロン2F
TEL 0489-65-9914 担当：中田・船橋

●横浜支店

〒220 神奈川県横浜市区北幸1-11-7 日本生命横浜西口ビル4F
TEL 045-311-8251 担当：及川・田中



庭が部屋になる。部屋が庭になる。 今、話題のガーデンルーム〈エクシオール〉。

これからは、わが家の庭で*遊ぶ、くつろぐ。*ホームリゾート時代
庭にエクシオールを付けると、春・夏・秋・冬… 四季折々のリゾート気分が満喫できます。

たとえば去年1年間の雨の日は、約120日もありました。

このような日でも、エクシオールのパネルカーテンをフルクローズにすれば、自然の楽しさを味わうことができます。

晴れた日はもちろんフルオープン。



●資料希望の方はハガキに
資料請求券を貼付の上、
送付ください。

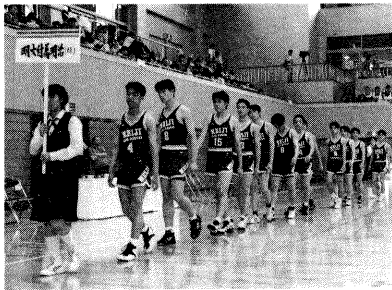
資料請求券
M-7

エクステリア総合メーカー
東洋エクステリア株式会社
〒160 東京都新宿区新宿1-4-12

代理店
株式会社 マチダ
〒340 埼玉県八潮市二丁目1069-1

お問い合わせは ——— 0489(95)5941代

昭和40年辛
代表取締役 荒木 毅



第49回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

バスケット部

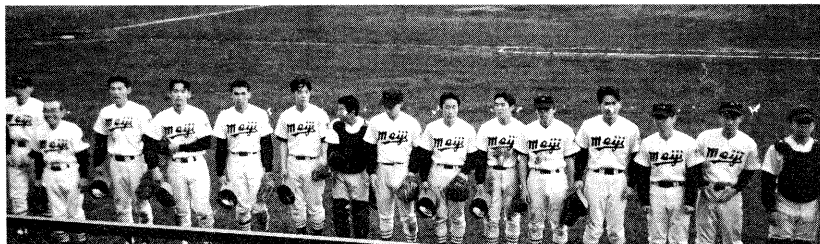
特集
春季高校野球東京大会ベスト16位に
高校バスケット関東大会出場へ

硬式野球部

スポーツ環境に余り恵まれていない我が校でありながら、野球部、バスケット部の活躍が目覚ましい。
野球部は春季東京大会でベスト16位に！ 名門復活の兆しが見えてきたようです。甲子園への夢をかけて皆で応援しましょう。
バスケット部も強豪を破りインターハイに出場！ 惜しくも一回戦、84対85延長で破れてしまいました。今後が期待されます。

今年三十七年ぶりに関東大会に出場できたわけですが、これはもちろん今の生徒達が、朝早くから

バスケット部顧問 前島 研二
私が八年前本校教員になり、バスケット部の顧問になった時、高校は公式戦一回戦負け、中学も千代田区内で一勝できるかどうかのチームでした。部員も四十数名で休みも多く、あまり熱心に活動してるといった感じはありませんでした。
半年がたち、新チームになった時、「勝ちたいならば今の二倍、三倍努力しないと勝てない」と話し合い、練習時間を増やし、日曜日の練習も始めました。十数名が辞めましたが、残った部員で新たな戦いのスタートをきったのです。
その後、つらく苦しい時期もありましたが、徐々に部員も増え組織としてもしっかりしてきました。それにつれて技術や意識もレベルアップし、各大会では良い結果を残せるようになってきました。また、前は負けても涙ひとつ見せなかった生徒達が、負けたと悔し涙を見せるようになってきたのです。



4月9日(日) 都営駒沢球場 明大明治 対 桜美林 2-1

夜遅くまで練習し、日曜日もなく頑張ってきた成果です。しかしそれだけでは成し得なかった事でしよう。朝練に出るために朝早くから起きてお弁当を作っていたいたり、忙しい中、試合の応援に来て下さったりと、御父母の方々の日頃の全面的な御協力があったからであることは言うまでもありません。この様な恵まれた環境、さらに今のバスケット部の基礎を作ってくれた先輩達の努力、夢といったものが今年のメンバーの頑張りにプラスされ、今までの道のりの集大成として良い結果にあらわれた様に思っています。



第49回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

残念ながら関東大会は一回戦で負けてしまいました。けれどもい

い経験を積みむことができた。今後も感謝の気持ちを忘れず、さらなる目標に向かって努力を続けてくれることを期待しています。

試合は78対78で延長に入り、残り1秒1点を追って部員五十四名

の願いを込めて放った逆転3点シュートも時間切れ。試合には負けしたが、近來まれに見る好チームに仕上がったのは、先生・監督の好指導は勿論、強い控えがいて、それを上回るレギュラーがいたからだ。それぞれの関東大会は終わった。

硬式野球部顧問 山脇 信彦
日本の夏の風物として人気のある全国高等学校野球選手権大会の東京予選は七月十三日から始まりました。本校は東、東京大会に属し、百三十校の中で今年度はシード校として、ベスト8の仲間入りすることができました。
これは昭和五十年夏季大会以来のことで、三田顧問の後を受けての最初の年でした。
夏の大会のシードは都全体でベスト16に属したチームのことで

五十年代は常にその近くの実力を保持していたものです。
しかし、六十年代には春季大会への出場権すらも得られないほど低迷していました。部員数も一般校の半分程度で練習にも不自由するほどでした。
しかし最近では明大野球部の協力により練習試合をさせてもらい、恵まれた環境にあります。
今年度は久しぶりに投打に充実した三年生を中心としたチームをつくりあげることができました。
投手力は速球を武器とした笠原をエースとし控えにコントロール

内容を後半に入って二対一という息のつまるような投手戦であり、8回、9回と回を追うごとにスタンドの応援も熱が入り、最後には応援指導班の方々とスタンドの父母、OBの方々が一体となり、なりふりかまわずの応援となり、この声が天に届いたかのよう

の野村を置き、中村、加藤をはじめとした強力打線は今年の成績を盛り上げた主因と云えます。守備では内野にやや難はありますが、今後の練習により上達するものと思っています。
夏の炎天下で思う存分実力を発揮して高校生活の良き思い出を残してくれたことと思います。

秋の大会へ向けての目標として、夏のシード権獲得を決めたのだ。春の大会に入り、1、2回戦は、秋の新人戦ではみられないようなコールド勝ちで圧倒的な強さをみせた。目標である3回戦は一転して投手戦の末、全国制覇の経験もある桜美林に2-1で勝利した。これまで秋のブロック優勝、春のベスト16と自分達で決めた目標は実現してきた。最後の今年の夏では、甲子園出場という目標を定め、三年間で最高の夏にしようとして頑張った。

最後にあの「白雲なびく」を涙しながら歌った時のあの感動を思う時、学生野球のすばらしさを感じ、冬には陸上部と化し、走り込みと筋トレの毎日であった。そして春の大会へ向けての目標として、秋の新人戦ではみられないようなコールド勝ちで圧倒的な強さをみせた。目標である3回戦は一転して投手戦の末、全国制覇の経験もある桜美林に2-1で勝利した。これまで秋のブロック優勝、春のベスト16と自分達で決めた目標は実現してきた。最後の今年の夏では、甲子園出場という目標を定め、三年間で最高の夏にしようとして頑張った。

ビジネスホテル
ラフィネ マルタ 本郷
オーナー 宇田川雄弘 (昭和30年卒)
●ホテル 〒113 東京都文京区本郷 6-16-11
TEL 03-3814-0311 FAX03-5689-4888 (東大正門前)

LAKE SIDE HOTEL
ラフィネ マルタ
セーリング/水上スキー/テニス/ゴルフ/野天風呂/スキー・黒姫/妙高/赤倉/班尾
オーナー 宇田川雄弘 (昭和30年卒)
お申し込み ●東京営業所 〒179 東京都練馬区早宮 4-1-16
お問合わせ TEL 03-3993-6222 FAX 03-3993-5383
●ホテル 〒389-13 長野県上水内郡信濃町大字古海4467
TEL 0262-58-2760 FAX 0262-58-3080

昭和41年3月卒同期会
41明友会
連絡先 〒110
東京都台東区下谷 3-4-5
菊池博道方
☎03-3872-5427
FAX03-3871-8388

LOVELON co.,ltd.
himico 昭和34年卒 代表取締役 高橋 秀典
CHARMANT 昭和38年卒 専務取締役 高橋 正佑
ラロン株式会社 〒111 台東区浅草橋 4-19-7 ☎03-3862-7611(代)

今が買いどきです!!
信用と実績のゴルフ会員権売買
VANゴルフ
昭和34年卒
松下 磐
港区新橋 3-26-4
☎ 03-3289-5861
FAX 03-3289-5862

クラブ活動OB会はどうなっていますか？

クラブ名	幹事又は照会先	クラブ名	幹事又は照会先
生徒会本部		バドミントン部	
応援指導班	吉田耕太郎(S45)043-2962-1477	英語部	
新聞班		マンドリン部	佐伯亮、富山浜雄3851-7400
吹奏楽班	阿部正行3788-6383	物理部	関川、尾崎幸平3875-7387
放送班	名簿のみ	化学部	森ハ一(S45)3622-8583、柳岡裕一(S41)3681-3400
図書班		生物部	
剣道部	(見心会)園部雅英045-711-0881	写真部	
硬式野球部	山本晃裕(S29)3861-5377	商業研究部	
中学野球部		書道部	
高校山岳部	平野真市(岩屑会)、中村045-562-1674	地理研究部	(OB会開催年の大学3年生が当番)名簿のみ
水泳部	寺村武二(S26)明水会3813-6686	歴史研究部	鈴木勝一路(S38)3553-3982
スキー部	若松弘昌(S38)3777-0873(明雪会)	美術部	
卓球部	宇田川雄弘(S30)(明卓OB会)3994-4381	JRC・IAC	
柔道部	小川洋一(S38)3634-3733	天文部	名簿のみ、木村修(S49)3821-6509
庭球部	荒井重雄(S29)3666-7527	囲碁部	
バレー部	山口一磨(S27)0423-41-5961	将棋部	
バスケット部	宮本久義(S31)044-922-7984	映画技術研究部	

幹事又は照会先が空欄のクラブは不明です。心あたりの方は総明会事務局にご連絡下さい。

やじ馬OBの一言

私が卒業してから27年を経たが、通学当時に中学、高校の校舎として使用していた建物がまだ現役で残っており、学校は当時と殆ど変わっていない。
当時の図書館やバレーコート横の建物が、建て替えられてはいたが……。
交通の利便性、本の町に隣接していることなどの教育的環境からすれば、学舎の立地条件としては恵まれていると思う。
しかし、13歳から18歳までの少年約1,200名が、伸び伸びと学校生活を送るにはつつしけ丘にグラウンドが有るとはいえ、陸上競技やラグビー、サッカーをするには不十分ではないか、と大分前から気になっていた。
大学のある筋によると校舎移転の計画はかなり前からあるらしい。私自身、具体的移転候補地も耳にした。しかし、其後話が進展しているとは、伝わってこない。OBとして、今後の推移を見守りたい。
佐久間洋一 記

昭和44年卒明治高校 同期会男坂クラブ

西に天下の霊峰富士を仰ぎ、東に板東太郎を眺めては、白雲なびく駿河台の地で血気盛んな青春の揺籃期を紫紺の旗の下に、何人もの掛け替えない先師との出会いと、数え切れない先輩後輩の温かい導きの中で、喜怒哀楽を共にして育った明高男児も今では男盛り働き盛りの社会の屋台骨、押しも押されぬ45歳。
思えば、あの紫紺祭という名前にどれ位はれ込んだでしょう。当時の校長、今は亡き福島先生の下、『明治100年』というタイトルを高く掲げ、我等全員一丸となつて、校庭に面した校舎の1階から屋上までを所狭しと100枚以上のベニア板で、校舎と同じサイズの紫紺色のMの頭文字を金網にくくり付けて、朝早くから夜遅くまで見回りの先生方の目をかいくぐっては時の経つのも忘れ、夢中になって準備した輝く日々。
文化祭のフィナーレ、フォークダンスの時、手の掌の汗をしきりに気づ

にしては、彼女の移り香をほのかに感じて、深呼吸をしながら何とも言えない胸の高まりに、これが幸せてやつなんだ、とにんまりしていたあの時。
第1回のマラソン大会。前日の豪雨が嘘のように晴れ渡り、コースのあちこちに大きな水溜りが残っている狭山湖を、チェックポイントで待機している先生方にポスターカラーで二の腕に印を付けられては、うだるような暑さの中で一生懸命走った後のゴール、ご褒美に1本づつ手渡しくれたカナダドライのジンジャエールの味。
どれをとってもみんなかけ替えない青春。心の中の宝石箱の一番大切な物を入れる場所に今でもしまっておりま

時が流れ、時代が移り、御茶ノ水の街がどんなに変わろうとも、女房の目尻のしわが気になり始めても、アデランスのコマーシャルが気になつて来ても、娘のボーイフレンドの耳のピアスがどんなに気に入らなくても、バブルのしわよせに悪戦苦闘を強いられても、毎月のローンの落ちる日が来ない様に祈る日々が続こうと、どんな大地震が来ようとも、僕達の明高魂は永遠に不滅です。
こんな私達の女房より大切な思い出を、ほこりにまみれないように、たまには引張り出して丁寧に磨いて、心温まる仲間と、見せ合い自慢したいと思ひます。
我々の先輩諸兄は勿論のこと、50年代、60年代、平成の卒業生諸君にも我々の楽しかったあの頃の熱い思いと、どんな圧力にも屈しなかった強い心を支えてくれた質実剛健という言葉を本当に信じ、貫き通した胸の高まり、楽しさ、を我々ともう一度体験して戴きたくここに絶大なる自信をもってお知らせすると共に暫しの明高生時代へのタイムトラベルをお楽しみ下さるようご招待申し上げます。

記念館さよならイベント

歴史展やコンサートの開催決まる

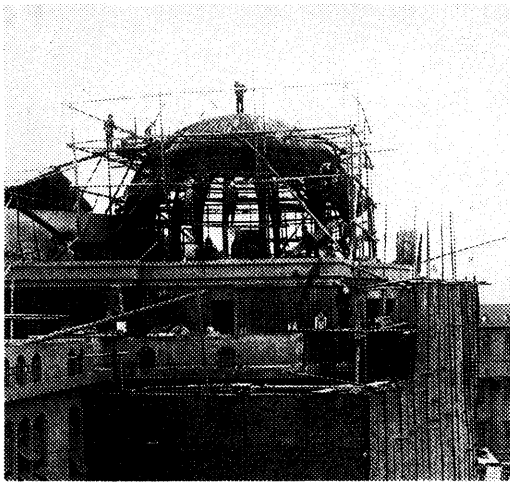
明大生ほか多くの人に愛された記念館との、お別れの日が刻一刻と近づいている。記念館さよならイベント本部(本部長＝大塚初重理事)では「記念館写真・絵画コンテスト」(本紙前号既報)のほか「明治大学記念館歴史展」「記念館さよならコンサート」「記念館グッズの販売」について次のとおり詳細を決め、各実行プロジェクト・チームが現在、作業を進めている。

◆明治大学記念館歴史展◆

今年は終戦五十周年ということで、様々な企画が全国各地で行われているが、戦後五十年を含む約七十年の激動の歴史を明治大学というフィールドをとおして振り返る。▽日時＝11月7日(火)～10日(金) (10～18時) 11月11日(土) (10～17時)▽会場＝駿河台校舎2号館1階▽展示品＝パネル・文書など▽入場無料

◆記念館さよならコンサート◆

▽日時＝10月20日(金) (17時30分～21時) 大学側のあいさつ、ハーモニカソサエティ・マンドリン倶楽部コンサート、校歌斉唱など▽会場＝記念館講堂▽入場料＝2千円



全明大人の英知と情熱で建設された現記念館

◆記念館グッズの販売◆
▽記念館メダル＝ユリア樹脂製、直径18cm、表には記念館をデザイン、裏には校歌▽記念館テレフォンカード2枚組

1セット(50度数)▽記念館ブックマーク＝葉▽記念日本酒「お、明治」これらの詳細については、記念館さよならイベント本部

9月1日現在、明治大学は夏期休暇中であるが、記念館の解体工事に向けて周辺(1号館・体育館)の改修・補強工事もスケジュールどおり行われている。

宿泊と観光の予約も受付

「記念館さよならDAY」に遠方から参加される人達のための宿泊先と翌日の観光予約を次のとおり受け付ける。
▽11月11日(宿泊)＝「ホテルグランドパレス」
▽11月12日(観光)＝明大ゆかりの地・バスツアー
詳細は、明大企画室・明大カード担当係(03-3296-4064)まで。
「明治大学広報」より抜粋

明中高生に拍手!!

日本経済新聞(7/8付)の教育欄より

あいさつは、世の中を潤す潤滑油だ。お互いが住む社会をより住みよくするために、あいさつを交わす。ところが、最近これができない若者が多い。
先日、明治大学付属明治中・高校(男子校)に伺い、生徒のあいさつの素晴らしさに感激した。廊下ですれ違う生徒がみんな、きちんと頭を下げる。
この原因を先生にお聞きすると、「部活動(クラブ活動)が盛んで、こ

でしつけられたのでしよう。学校として特別なことをしているわけではありません」ということだった。生徒の九割以上が、何らかの部に所属しているという。特に運動部の加入者が多く、コーチは先輩があたり。それだけに、あいさつについても厳しく教える。
中・高一貫教育には、良い点ばかりがあるわけではない。付属からきた学生で、全く勉強への意欲を示さない者がいると大学の先生たちは嘆く。受験競争か

ら解放されて、それが大学生活まで続いているのだ。しかし、同校では、受験競争のない一貫教育の長所が部活動の活性化となつて表れているようだ。
家庭から、「しつけ」が消え、小さい時から知識を詰め込むことに懸命で、「勉強ができる」ことが親の最大の関心事となっている。地域もコミュニケーションとして機能しなくなり、他人の子供には全く関心を示さなくなっている。
だから、学校での部活動の果たす役割は大きい。上下の人間関係、仲間との人間関係、先生と生徒の人間関係を部活動で学ぶことができる。しかし、タテ社会は、往々にしてファシズムに通じる危険もある。特に未成熟な中・高校の集団では、危険度が高い。

それだけに、中・高一貫教育の有利さを十分に生かし、六年間かけて人間関係を作る明大付属明治中・高校の素晴らしい教育が、あいさつになったのだらう。

昭和三十七年卒
築地中央卸売市場
株すし玉青木
代表取締役
小島賢治
電話 〇三—三五四一—四〇一九

昭和四十三年卒
幹事一同

青山吉伸 荒木和雄 池谷行正 石井次男 太田良一 荻誠一 小沢正一 小田嶋保男 小野洋 亀井実 木幡和司 児玉実 佐久間洋一 下田利光 榛葉紀久雄 竹川忠芳 橘晶男

総明会を成功させよう!!

中尾恵則 中村正容 中村義克 長谷川清志 長谷川裕 原田修 細矢日出男 福光登志雄 藤井純一 藤田敏一 布施隆章 本間修 前田俊明 増嶋篤 三田幹男 八木下恵三

昭和四十三年卒
今回ホスト学年

浅井敏夫 安達康男 石井道秀 板橋光一 江連幸雄 片岡正美 川西隆三 岸伸幸 金原常隆 草野典一 小泉忠進 小孫賢一 五味裕嗣 佐藤正孝 篠原昇 柴村一夫 志村完治 杉谷敏 鈴木木強 鈴木敏男 関野忠男

高木誠 橘章裕 田村栄司 寺崎悦章 寺田規行 中野寧 野口勇 塙康敏 馬場勤 平石樹 深野正成 福田喜一郎 降矢卓美 堀井辰雄 堀切憲治 前田正治 村野生世 森泉真一郎 山本裕 吉田勇 和栗健



●コマーシャル映像制作
(アニメーション・コンピュータグラフィックス)
●CI・BI制作デザイン
(マーク・ロゴタイプ・キャラクター)

昭和43年卒

長島孝一

〒220 横浜市西区東久保町11-18 TEL・FAX 045-231-3578

昭和四三年卒

株スーパ一鳥吉

卯木良和

住所 習志野市大久保一―一九―三
電話 〇四七四―七六―四二二九

次回幹事学年
昭和44年卒業生ご挨拶

諸先輩方々より引き継がれて参りました総明会ですが、いよいよ我々が会の運営や企画を担当する学年を迎える番となります。年代的にも時代的にも戦後の復興に加速のついた社会の流れが経済中心から本来の人間性の回復にウェイトの移行を始める過渡期こそ我々の学生時代だったのです。先輩方の考えと新しい世代の価値観の変化の間に立って従来の総明会の必要性(アイデンティティ)と今後の世代の総明会の在り方を出席者の人数を初めとして、様々な角度から検討を重ねているうちに卒業生の世代背景に即した明高の懐かしさを踏まえた質実剛健、独立自治の精神を模索する時期ではないかと痛感致しております。もしそれができれば後輩達に大切に教えて、伝えて行きたいと考えています。生意気な事はばかり並べましたがまだまだ暗中模索の部分も沢山ございます。どこまで実現できるかどうかこれからの課題として解決しなければならぬ問題もありますが、皆様に良かったと言ってもらえる会を目指し頑張っております。例えば母校でやる『OBのための紫紺祭』なんてのは如何でしょう。体育祭も忘れてはいませんよ。奥さんや子供達も行ってみようかなと思うような、そんな集まりはどうでしょう。母校でやれば会費も安くできます。緑日みたいな出店があったら若い人たちがきつと楽しい筈。もちろんフォークダンスやゲームも忘れていません。ああそうそう、あの我ががシンボル応援団の威勢のいいあで姿やかけ声も再現したらどうでしょう。我々の同期で芸能界で名を挙げているのはいまいますよ。『えっ。』と思う人も来てくれちゃうかも。どうする。もうひとつ大切な事はこれから明中や明高を受験しようとしている受験生やそのご両親にもっとも楽しいし、点数や偏差値だけの頭でっかちの学校じゃないんだって思っただけのこともっと嬉しいですね。勿論梓を越えて砕け過ぎないようにも気を配るつもりです。如何でしょうか。少しずつですが着実に、本当に母校が大好きな仲間が、大勢来て戴けるよう心より祈りながら進んで行くことを誓います。有難うございます。

祝第31回 総明会 総会及び懇親会

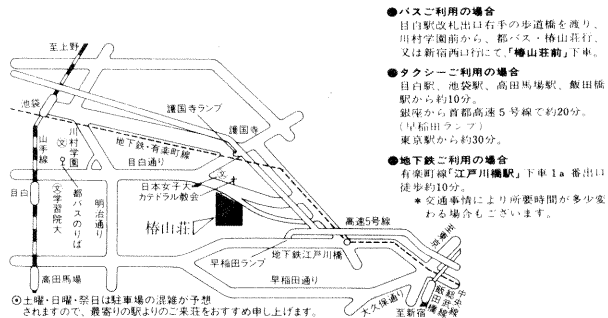
い い な
昭和39年卒 「一七会」 会員一同

会長 武村隆二

第31回 総明会 総会 開催のご案内

平成7年11月18日(土)午後6時開会
目白・椿山荘 5階 瑞雲の間

〒112 東京都文京区関口2-10-8 TEL(03)3943-1111



初めて出席される会員の方々大歓迎致します！ 声を掛け合い一人でも多くの皆様がお出かけ下さる事を期待し、ホスト幹事学年昭和43年卒業「紫讃会」一同、心よりお待ちしております。

第31回総明会の開催にあたり我々幹事学年と致しましては「格式ある伝統と新しい感覚のオリジナリティの融合」をテーマに美味しいお食事と素敵な音楽を十分楽しんで頂ける様に企画致しました。

会費

一般会員 10,000円
先輩会員 (65才以上の方) 8,000円
現役学生 5,000円
同伴者 5,000円

名札

名札用シールをお渡し致しますので、卒業年とお名前を各自記入して胸にお張り下さい。

記念品

ホスト幹事学年昭和43年卒「紫讃会」の有志が独自にデザインした明治オリジナルキーホルダー(500円相当)です。スッキリしたデザインで使いやすく、よい記念になると思います。
お帰りの際にお渡し致しますのでご期待下さい!!

第31回総明会総会会場

記念すべき第31回総会にふさわしい雰囲気を持ち、都会の森としてみなさまに親しまれております椿山荘 瑞雲の間を会場としてご用意いたしました。

平成7年11月18日(土)

時節柄結婚シーズンですので当日の会場付近はめでたさ一杯の雰囲気でもり上がることでしょう。

午後5時30分開場・受付開始

緑ゆたかな、椿山荘の庭園を散策されてから、ご来場されてはいかがでしょう。
ホスト幹事学年昭和43年卒「紫讃会」スタッフ一同が会場設営など用意周到、準備万端おこたりにく、受付いたしますので、皆様のお早めのご来場をお待ち申し上げております。

午後6時 総明会総会開会

第31回総会式次第は会長挨拶、会務・会計・監査報告の議事、来賓代表ご挨拶の予定でございます。
会員皆様には立ち席で誠に恐縮ですが、しばらくの間、総会進行にご協力をお願い申し上げます。

懇親会開会

さて、お楽しみ会の懇親会の始まりです！ 乾杯のご発声をはじめご来賓の方々からご祝詞をいただきます。皆様ご歓談のひとときを過ごされ大いに盛り上がってください。
パニーガールと一緒にポラロイドカメラ撮影やコンパニオンによる色々なサービスを企画準備致

しております。

また、われわれ幹事全員がタキシードを着用して、みなさまが楽しい一時を過ごされます様お手伝い申し上げます。

パーティ企画

BGM、およびショータイム。実力派ジャズカルテットをよんでいます。なつかしいスタンダードナンバーを、歌や演奏でお楽しみ下さい。
また、特別企画といたしまして、ホスト学年の中学入学(昭和37年)から、高校卒業(昭和43年)までの6年間の、世の中の出来事をスライドにして会場の壁4面に大きく写し出します。ナレーションや音楽によりあの日の感動がふたたび甦ります。

校歌斉唱

さて、いよいよ最高に盛り上がる時間です。そう、校歌斉唱です。先輩・同期・後輩そして同伴ご婦人のご来場のみなさん、肩を組み大いに校歌を歌いましょう！
明治高校応援団OBを先頭に明治高校プラスバンドOBが演奏いたします。

午後8時閉会

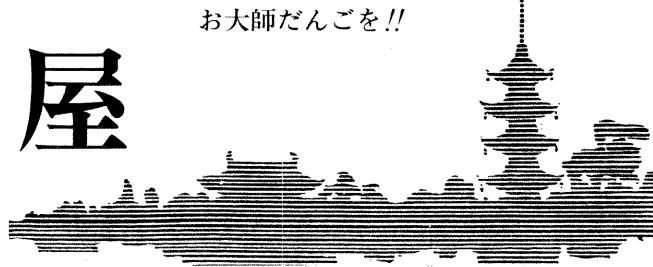
そろそろ第31回総会も幕引きに近づきます。大いに語らい、大いに食べ、そして大いに飲み、素晴らしい時間をより多くの方々と過ごされたことと思います。
お帰りに際しては、ホスト学年「紫讃会」幹事が出口でお見送りさせていただきます。記念品のキーホルダーをお受け取り下さい。総明会のますますの発展を我々一同お祈り申し上げます。

割烹 中田屋

西新井大師門前
電話(3890) 2 9 3 3 (代)

昭和37年卒 中田 貢 弘

お土産には、ぜひ当店自慢のお大師だんごを!!



笑顔が集い、
季節を彩ります。

昭和43年卒業 増嶋 篤



はれやかにWedding

目白坂ロマンティックウィークデイプラン
その他のいろいろな時期にあわせたプランがございます。

なごやかにParty

同窓会、謝恩会、親睦会、果人会、歓迎会、送別会、忘・新年会など少人数様からの各種パーティのお集まりに。

おしゃれにLunch & Dinner

フランス料理レストラン「カメラア」
料亭「錦水」
松阪牛和風料理「離れ家」

FUJITA KANKO

CHINZAN SO
椿山荘

〒112 東京都文京区関口2-10-8
03-3943-1101